

第3回 富士見市文化芸術振興委員会議事録

日 時	平成30年2月20日（火） 18:30～19:45						
会 場	鶴瀬コミュニティセンター 第3集会室						
出席者	加藤	氣賀澤	高野	上川	吉川	野村	佐藤
	○	○	○	○	×	○	○
	水野	肥田	関（知）	田中	長坂	関（仁）	渡邊
	○	○	○	○	×	○	○
	事務局：地域文化振興課 中嶋課長、佐藤、田中						
1	開 会						
2	委員長挨拶 加藤委員長						
3	議 事						
	<p>(1) 富士見市文化芸術振興基本計画の評価方法について 事務局より今後のスケジュール及び評価方法を説明。 協議事項は以下の通り。</p> <p>委 員) 評価方法が難しく感じる。 事務局) 中間評価に向けて、これまでの取り組みに対する基本目標・施策の柱の評価を実施するものをご理解いただきたい。また、行政で行う評価に対して、市民の代表としての意見を頂戴したいと考えている。</p> <p>委 員) キラリふじみが建設された後に条例や基本計画ができた。他市町では条例や計画が先で富士見市とはプロセスが違うため、財政措置など独自の計画進行が必要と思われる。また、計画策定時から取り組みの進捗がみられるものとみられないものがあるため、進捗状況の明確化が必要。</p> <p>事務局) 計画が策定されたことにより新たに作られた「子ども文化芸術大学☆ふじみ」や「小学校合唱部指導者派遣事業」、「舞台芸術鑑賞会実行委員会」などの市民協働で行う実行委員会も組織されている。委員ご自身が富士見市で生活している中でこの計画に対して現在何ができていて何ができていないのか、今回の評価・見直しの中で意見を頂戴したい。</p> <p>委 員) 文化芸術振興基本計画の概要版はないのか。 事務局) 策定時には作成していない。見直しに合わせて、概要版の作成も検討したい。</p> <p>委 員) 見開きで大まかな内容がわかるようにイラストを多く取り入れ、直感的にわかりやすいものを作ってほしい。</p> <p>(2) 市民アンケートについて 事務局より市民アンケートの実施について説明。</p>						

協議事項は以下の通り。

委員) 条例・計画に対する質問事項が抽象的に感じる。アンケート作成に際し、参考とした事例はあるのか。

事務局) 計画策定時のアンケートを基としている。

委員) 交流センター・公民館に設置しても、職員による声掛けなどを行わないと市民にはわかりづらいのではないか。

事務局) 職員には利用団体への依頼や窓口での声掛けなどを依頼しているが、各施設で温度差はあると感じている。また、他自治体でも計画の周知が一番難しい課題であると聞いている。計画・事業についてどのように周知を図っていくことを検討が必要と考えている。

委員) すべての市民が関心を持っているわけではないが、強い関心をもっている市民もいる。アンケートを実施すること自体はよいことだと思う。

(3) 文化芸術振興基金の活用検討について

事務局より、次回委員会時に補助・助成事業について素案を提示する旨を説明。基金のことについて、委員からの意見を募った。協議事項は以下の通り。

委員) 過去に補助金などを求められた事例はあるのか。

事務局) 地域文化振興課の窓口では確認していないが、施設利用等で相談を受けることはある。

委員) 規模と範囲はどのようになるのか。キラリふじみが建設された際「市民病院や火葬場（しのめの里）などの施設建設が先ではないか」などの意見も出ていた。

今回の補助金の件でそのような意見が出てくる懸念がある。

事務局) 規模と範囲は明文化すれば平等性は担保されると考えているが、金銭が絡むことなので、補助が受けられなかった方に対して明確な理由を説明する必要が生じるため、しっかりと検討したい。

委員) 県が行っている文化振興基金の内容になぞらえていくのか、違う方向で行うのか検討していく必要がある。また、協働事業提案制度のように委員会で審査を行うことも一つの手である。参考にしたい。

4 閉会 閉会あいさつ 氣賀澤副委員長

以上